

2015年度伊勢崎市予算総額73億5千万円の一般会計予算

新年度の伊勢崎市の予算案は消防本部庁舎、赤堀中建設など大型事業が終了したため合併特別債の発行を21億円減らし、一般会計総額で73.5億円（前年比△3.2%）になります。所得増加を見込んだ個人市民税1.1%増、法人市民税20.1%増と市民税の増収により、地方交付税が減額され、自主財源の比率が1.5ポイント改善し51.8%となりました。

子育て支援一國の交付金活用し充実

待機児解消 新公設児童

新入生の事前調査で、赤堀小学校区では放課後児童クラブで待機児が発生するおそれのあることがわかり、公設の児童クラブを赤堀支所内に増設することになりました。財源に、国の地方創生交付金を活用します。

このほか、民設の放課後児童クラブが5つの学校区で新たに開設されます。

民設児童

低所得者助成

これまで公設の放課後児童クラブの保育料は、住民税非課税世帯で無料、均等割課税世帯や二人目以降は半額とされ、母子家庭・多子家庭等の負担軽減が図られてきました。

軽減されるからといっても、学区外の児童クラブに通わせるわけにはいきません。不公平をなくすために、民設の児童クラブでも同様の負担軽減を行うよう要望してきました。

市は今年度から民設の児童クラブに通う場合、非課税世帯は5千円を上限に半額、均等割課税世帯に2500円を上限に四分の一の補助を行うこととしました。

これも全額「地方創生」交付金で実施します。

一方、市支援は減らし負担増も

公設児童

保育料減免半分

ところが、公設の児童クラブでは、保育料の軽減額を半分に引き下げ、二人以上通っている世帯の軽減は打ち切っていました。

非課税世帯の所得は、生活保護基準程度です。そっくり負担増になる月5千円・年間6万円の保育料は、母子2人の家庭なら一ヶ月分の

生活費にも匹敵する金額です。預けられなくなる家庭が出てしまう心配があります。

扶養控除廃止 保育料 値上

2010年に、子ども手当の財源として年少扶養控除が廃止されました。これまでは増税が保育料に連動しないよう、「扶養親族申告書により、扶養控除廃止前の旧税額の計算方法で算定します。」という但し書きを付けて、税額で決まる保育料が増えない措置がとられてきました。

しかし新入園児からこの再計算を行わず、負担が増えることになりました。子ども手当が約束通り支払われず、税金が増えた上に、給料が増えなくても保育料だけは増やすのでは、「子育て支援」どころか「子育ていじめ」です。

子供がたくさんいる世帯で大きな影響が出てきます。課税額が増え保育料ランクが一つ上がると、月2千円〜7千円ほど保育料が増えます。

国は、子ども子育て新制度で、消費税増税分を子育て支援にも回すといっていました。

伊勢崎市の対応は、国の全額交付金を使った前進面もあります

が、市独自の支援は後退させてしまいました。

日本共産党議員団は「これでは子育ていじめではないか？」と、負担増に反対しました。



20%の「ドリーム商品券」

伊勢崎市は国の地方創生の交付金を活用し、1万円で1万2千円の商品券がくる20%のプレミアム付商品券を、「ドリーム商品券」と銘打ち、9万5千セット発行します。一人5セットまでとし、6月中旬〜7月中旬に往復はがきで申し込みを受け付けます。

母子世帯等の経済弱者には家計支援にプレミアム率を30%と高く設定する自治体もありますが、伊勢崎市はこうした配慮は行いませんでした。

年金削減中止を求める請願を否決

日本共産党議員団が紹介議員となり、全日本年金者組合伊勢崎支部から「年金引き下げの流れを止めることを国に求める請願」が提出され、経済市民委員会で審議されました。

長谷田市議は紹介議員として、「この間年金は3%も引き下げられたのに、国はさらに自動年金削減のマクロ経済スライド導入により30年間で3割引き下げようとしている。」と、年金削減中止を求める意見書を国に出すよう求めました。

市民の切実な願いに対し、日本共産党議席のない経済市民委員会では、伊勢崎クラブの斉藤議員が反対討論を行い全会一致で否決をしました。

住宅リフォーム助成新年度 実施

今年度も、住宅リフォーム助成を実施します。当初予算は1億円ですが、希望者が多い場合は昨年同様補正予算で対応するという答弁でした。

ただし、今年度は13・14年度に利用した人は申し込みできませんので、ご注意ください。



☆境伊与久テニス場人工芝張替、赤堀中央運動場野球場改修等

★第1・赤堀・あずま学校給食調理場を統合 西小保方町に新設

行革の推進

★公共施設統合総合管理計画の策定 更
新・統廃合・長寿命化等平準化計画的に

その他

平成26年度国の補正予算繰越し事業

「地域住民生活等緊急支援交付金」活用

★ドリーム商品券(20%のプレミアム付)等「地方創生先行型事業(14事業)」

★放課後児童クラブ利用者補助事業、不育症治療費助成事業ほか

新年度予算の主な新規事業等

★新規事業 ☆充実

福祉・地域医療の充実

- ★赤堀小学区に公設放課後児童クラブ開設
- ★地域ふくし館を西久保町に新築移転
- ★水痘・高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種の実施
- ★いせさき聖苑待合室 和室を洋室に改修
- ★伊勢崎福祉作業所 トイレの改修

地域活性化の推進

- ☆住宅リフォーム助成金
- ☆伊勢崎駅の周辺整備・賑わい創出のため駅前インフォメーションセンター開設
- ★震災で休館中の勤労者会館を全面改修
- ★境駅前の赤レンガ倉庫を地域活性化の拠

安心安全なまちづくり

- ★マンホールトイレの整備 避難所生活排水環境を確保する(市民の森ほか)
- ★新たに2m以上15m未満の橋梁も点検
- ☆南部第三工業団地道路冠水対策の実施
- ★第64回利根川水系連合・総合水防演習

教育・スポーツ・文化の振興

- ★学校等に地域素材の書籍資料を集めた「ふるさと文庫」を設置
- ☆小・中学校、幼稚園の耐震化、体育館照明器具落下防止、吊り天井改修
- ★四ツ葉学園中等教育学校エアコン更新